

・令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(単位:円)

No.	補助・単独	交付対象事業名	担当課	事業概要 ①目的・効果 ②経費内訳 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施 始期	実施 終期	総事業費	臨時交付金	臨時交付金以外	効果の検証・評価
1	単	公共施設感染 防止対策事業	総務課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として来庁者が特に触れる機会の多いテーブル、ソファを抗菌仕様にする ことで、庁舎内での感染防止を図る。 ②応接セット 備品購入1,045,000円 ③来庁者、職員	R4.5	R4.9	1,045,000	1,045,000	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため来庁者が触れる 応接セットを抗菌仕様へ取り替えたことで、庁舎内での 感染防止が図られた。
2	単	公共交通計画 策定等支援業 務	総合戦略課	①コロナ禍による町外への外出自粛により、地域内の公共交 通に対するニーズが高まっていることから、現在の地域の移動 ニーズをふまえながら、アフターコロナに向けた地域の暮らしと 産業を支えるための、地域公共交通計画を策定し新たな公共 交通体系の構築を図る。 ②公共交通計画策定等支援業務委託料 6,930,000円 交通会議委員報酬 143,900円 費用弁償50,600円 ③地域内の公共交通、公共交通利用者	R4.4	R5.3	7,124,500	7,124,500	0	前年度実施した全世帯アンケート等を基に、コロナ禍にお ける町民の移動ニーズを反映した地域公共交通計画を策 定することができた。
3	単	生活交通バスIC カード導入支 援事業	総合戦略課	①生活交通バスのICカード導入支援を行い、ウィズコロナを見 据えキャッシュレス化を推進する。 ②生活交通バスICカード導入推進事業費補助金 1,881,000円 ③弘南バス(株)	R4.9	R5.1	1,881,000	1,881,000	0	生活交通バスのICカード導入について、国、県、観光DMO を組織する津軽圏域14市町村共同で支援を実施すること で、ウィズコロナを見据えたキャッシュレス化の推進が図ら れた。
4	単	農産物加工等促 進緊急対策事業	農政課	①アフターコロナの観光需要を見据え町で生産される農水産物 の加工品を開発、販売することで、新型コロナウイルス感染症 の影響により落ち込んだ農水産物の消費拡大、農業・漁業者 の所得の向上と雇用の拡大を図る。 ②加工室ポイラー設置工事 3,058,000円 ③中泊町特産物直売所「ビュア」	R4.5	R4.12	3,058,000	3,058,000	0	加工室へポイラーを設置し農水産物の加工品を製造する 体制を整備することで、新型コロナウイルス感染症の影響 により落ち込んだ農水産物の消費拡大に向けた体制が整 備された。
5	単	折腰内交流施設 緊急対策事業	水産商工観光課	①中泊町小泊地域の観光拠点である折腰内交流施設(道の駅 こどもり)において、新型コロナウイルス感染症の感染防止対 策として水回りの非接触化を図ると共に、アフターコロナの観光 需要を見据えカウンター席の設置、配膳棚の増設により、観光 客並びに交流人口の増加を目指す。 ②トイレ小便器4組、手洗い器4組の水栓自動感知化工事 641,300円 2階レストラン内の改修工事 299,750円 ③折腰内交流施設「道の駅こどもり」	R4.4	R4.7	941,050	941,050	0	小泊地域にある「道の駅こどもり」の水回りの非接触化を 図ったことで施設内での新型コロナウイルス感染症の感染 防止対策が図られた。また、カウンター席の増設等により アフターコロナを見据えた交流人口増加に向けた体制が 整備された。
6	単	観光誘客環境整 備事業	水産商工観光課	①アフターコロナの観光需要を見据え、観光資源である中里地 域不動の滝までの案内看板設置や遊歩道の整備、小泊地域 の折腰内オートキャンプ場内施設の整備を行い、観光業の活 性化による地域経済の活性化を図る。 ②・不動の滝 案内看板設置 132,000円 ・遊歩道整備 8,745,000円 ・オートキャンプ場 トイレ換気扇修繕 220,000円 ・遊具整備 352,000円 ③不動の滝、折腰内オートキャンプ場	R4.5	R4.12	9,449,000	9,449,000	0	中里地域にある不動の滝までの案内看板設置や遊歩道 の整備、小泊地域の折腰内オートキャンプ場内施設の整 備を行ったことで、アフターコロナの観光需要に対する体 制が整備された。
7	単	起業・創業チャ レンジ支援事業	水産商工観光課	①新型コロナウイルス感染症の影響により地域経済が低迷し ていることから、町で起業・創業を検討している事業者へ交付 金交付と起業・創業へ向けた伴奏支援を行うことで、地域経済 の活性化、雇用拡大を図る。 ②起業・創業支援プログラム業務委託 2,970,000円 印刷製本費 236,500円 交付金(2事業者) 6,000,000円 ③町内在住の起業検討者	R4.4	R5.3	9,206,500	9,206,500	0	起業・創業を検討している事業者へ起業・創業へ向けた伴 奏支援実施により、新型コロナウイルス感染症の影響で低 迷した地域経済の活性化が図られた。

(単位:円)

No.	補助・単独	交付対象事業名	担当課	事業概要 ①目的・効果 ②経費内訳 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施 始期	実施 終期	総事業費	臨時交付金	臨時交付金以外	効果の検証・評価
8	単	事業復活支援金申請サポート事業	水産商工観光課	①新型コロナウイルス感染症により影響を受けた事業者へ支払われる事業復活支援金は、WEBによる申請のため年齢層の高い当町の事業者では対応しきれないことが想定される。原油価格・物価高騰等の影響を受けている事業者が漏れなく支援金を受け取れるよう、申請のサポート業務を行う。 ②事業復活支援金申請サポート業務委託 3,031,050円 ③町内事業者	R4.4	R4.6	3,031,050	3,031,050	0	新型コロナウイルス感染症による原油価格・物価高騰等の影響を受けている事業者が漏れなく支援金を受け取れるよう申請のサポート業務を行ったことで、事業者の生活支援、事業継続に効果があった。
9	単	中里城跡史跡公園緊急対策事業	教育課	①アフターコロナの観光需要を見据え、観光資源である中里城跡史跡公園内の整備を行い、観光客並びに交流人口増加による地域経済の活性化を図る。 ②城跡史跡公園改修工事 8,736,200円 ③中里城跡史跡公園	R4.6	R4.12	8,736,200	8,736,200	0	中里城跡史跡公園内の整備を行ったことでアフターコロナの観光需要を見据えた交流人口増加に向けた体制が整備された。
10	補	学校保健特別対策事業費補助金	教育課	①新型コロナウイルス感染症のリスクを最小限に抑えながら、十分な教育を確保するため、各学校において必要な対策を行う。 ②・備品購入(加湿空気清浄機、大型モニター、網戸他) ・消耗品購入(消毒液、マスク、ペーパータオル他) ・中里小学校 902,500円 ・武田小学校 901,658円 ・薄市小学校 901,698円 ・小泊小学校 903,000円 ・中里中学校 900,900円 ・小泊中学校 901,995円 ③町内6小中学校	R4.6	R5.2	5,411,751	2,700,000	2,711,751	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、感染リスクを最小限に抑制しながら教育活動の継続のために、各学校で必要な消耗品、備品を整備することが出来た。
11	単	マイナポイント利用促進・消費活性化事業(国R3予算分)	総合戦略課	①マイナポイント申込の支援窓口を設置し、マイナンバーカード、マイナポイントの普及促進を行うことで、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ地域の消費喚起を図る。 ②・申込支援窓口設置:6,679,200円 ・マイナポイント受取サポート業務委託 891,000円 ・デザイン委託料 33,000円 ・チラシ作成業務委託 102,850円 ・印刷製本費 3,240,600円 ・プリペイドカード設定手数料 121,000円 ③町内マイナンバーカード取得者	R4.6	R5.3	11,067,650	4,388,450	6,679,200	新型コロナウイルス感染症による原油価格・物価高騰の影響を受ける消費者、事業者に対し、キャッシュレス決済を活用した消費下支え等による地域経済の活性化対策を実施したことにより、消費者、事業者双方への支援に繋がった。
12	単	マイナポイント利用促進・消費活性化事業(国R4予備費分)	総合戦略課	①新型コロナウイルス感染症の影響による原油価格・物価高騰に対する生活者支援として、マイナンバーカードを取得している町民に、2,000ポイント付与したプリペイド型の電子カードを配布する。 ②交付金 2,000ポイント付与×4,212枚:8,424,000円 ③町内マイナンバーカード取得者	R4.6	R5.1	8,424,000	8,424,000	0	新型コロナウイルス感染症による原油価格・物価高騰の影響を受ける消費者、事業者に対し、キャッシュレス決済を活用した消費下支え等による地域経済の活性化対策を実施したことにより、消費者、事業者双方への支援に繋がった。

(単位:円)

No.	補助・単独	交付対象事業名	担当課	事業概要 ①目的・効果 ②経費内訳 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施 始期	実施 終期	総事業費	臨時交付金	臨時交付金以外	効果の検証・評価
13	単	キャッシュレス決済促進事業	水産商工観光課	①町観光関連施設へのPOSセルフレジの導入及び町内事業者のキャッシュレス決済端末導入の推進・支援により、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として会計時の非接触化、キャッシュレス化を推進する。また、マイナポイントを利用できる環境整備を行うことで、コロナ禍により消費が落ち込んだ地域経済の活性化を図る。 ②・マイナポイント消費促進チラシ・ポスター作製業務委託 489,500円 ・POSレジ導入備品購入費(ピュア、道の駅、徐福の里): 11,291,500円 ・キャッシュレス決済端末機導入支援金 10万円×40件 =4,000,000円 ③特産物直売所「ピュア」、道の駅「こどもり」、徐福の里物産品直売所、町内事業所	R4.4	R5.3	15,781,000	15,291,500	489,500	非接触による決済サービスの導入を支援したことで、接触機会の低減による新型コロナウイルス感染症の感染予防が図られた。
14	単	医療機器向けマイナンバーカード対応設備補助事業	総合戦略課	①町内医療機関のマイナンバーカード対応設備導入に係る経費に対し補助を行い、マイナンバーカードをかざすことで、オンラインで医療保険資格を確認できる医療機関を増やすことにより、人との接触機会を削減し新型コロナウイルス感染拡大防止を図る。 ②医療機関向けマイナンバーカード対応設備補助事業 4件 3,890,000円 ③町内医療機関	R4.9	R5.3	3,890,000	3,890,000	0	町内医療機関のマイナンバーカード対応設備導入支援を実施したことで、人との接触機会削減による感染リスクの低減が図られた。
15	単	中泊産品を活用した食による学生支援事業	農政課	①新型コロナウイルス感染症拡大により、アルバイト等多くの制約を受け、また、物価上昇等の影響を受ける中、県内外に暮らす当町出身の大学生等に対し、食による経済的支援を行う。 ②・学生応援パッケージ発送業務委託料 773,300円 ・パンフレット作製業務委託料 42,680円 ③町内出身の大学生等	R4.7	R5.1	815,980	815,980	0	中泊産品を活用した食による支援(申請者55名)を実施したことで、学生への経済支援と共に、コロナ禍により消費低迷する地場産品の消費拡大により地域経済の活性化が図られた。
16	単	徐福の里観光誘客推進事業	水産商工観光課	①小泊地域にある町の特産物の直売所、「徐福の里物産品直売所」にエアコンを設置し、夏のマスク着用による熱中症対策や、店舗の環境改善によるアフターコロナを見据えた来店客の増加、海産物等特産物の消費拡大を図る。 ②・徐福の里環境整備工事設計業務委託料:440,000円 ・徐福の里環境整備工事:7,656,000円 ③徐福の里物産品直売所	R4.8	R4.12	8,096,000	8,096,000	0	アフターコロナの観光需要を見据えた店舗の環境改善により、夏場のマスク着用による熱中症予防、来店客増加に向けた特産物の消費拡大に向けた体制が整備された。
17	単	動画コンテンツ制作事業	水産商工観光課	①町の観光PR動画を制作し、SNSを活用しながらアフターコロナを見据えた誘客促進を行い、観光客並びに交流人口増加による地域経済の活性化を図る。 ②動画編集委託業務:2,620,000円 ③中泊町観光施設等	R4.6	R5.3	2,620,000	2,620,000	0	町の観光PR動画作成により、アフターコロナの観光推進体制の充実・強化が図られた。
18	単	Go得キャンペーン事業	水産商工観光課	①コロナ禍における宿泊施設、飲食・小売店の利用を促進するため、県が実施する新たなGoToトラベル事業と連携し、観光誘客の増加及び外貨獲得を図る。 ②・キャンペーン商品券印刷費 148,500円 ・キャンペーンサポート業務委託料 283,140円 ・キャンペーン助成金 2,903,000円 ③町内宿泊事業者	R4.6	R5.3	3,334,640	3,334,640	0	コロナ禍により利用者が低迷する町内の宿泊、飲食・小売店の利用促進事業を行ったことにより、地域経済の活性化が図られた。
19	単	高等学校通学費助成事業	総合戦略課	①コロナ禍における原油価格・物価高騰に苦しむ家庭を支援するため、高校生が公共交通機関等を利用しての通学に係る費用の一部を助成する。 ②高等学校通学費補助金 8,147,000円 ③公共交通機関等利用の町内高校生	R4.4	R5.5	8,147,000	7,992,000	155,000	高等学校通学に係る通学費助成実施により、コロナ禍による原油価格・物価高騰の影響を受ける家庭への支援が図られた。

(単位:円)

No.	補助・単独	交付対象事業名	担当課	事業概要 ①目的・効果 ②経費内訳 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施 始期	実施 終期	総事業費	臨時交付金	臨時交付金以外	効果の検証・評価
20	単	文書管理システム導入事業	総合戦略課	①庁舎内の文書管理をデジタル化し、ペーパーレス、はんこレスを実施。新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてテレワーク業務で実施可能な作業を拡充させ、コロナ禍における事務の継続、効率化を図る。 ②文書管理システム導入事業委託料 13,695,000円 ③中泊町	R5.1	R5.3	13,695,000	13,695,000	0	コロナ禍でも行政事務を滞りなく進めるため、庁舎内の文書管理のデジタル化による、テレワーク業務の事務環境の充実・整備が図られた。
21	単	中泊町地球温暖化対策実行計画作成事業	環境整備課	①町内で使用されている燃料や電気等の使用量の現状を把握し、町全体の取組として燃料・電気使用量の削減を実施していくことを定めることで、コロナ禍による原油価格や物価高騰時の影響を緩和させる。 ②中泊町地球温暖化対策実行計画作成業務委託料 7,040,000円 ③町内全域	R4.5	R5.3	7,040,000	7,040,000	0	コロナ禍による原油価格や物価高騰時の影響を緩和させるため、町内の燃料・電気料の現状を把握し、使用量削減に向けた計画を作成することができた。
22	単	中泊町大学生等への生活支援給付金事業	福祉課	①コロナ禍において、原油価格、物価高騰の影響を受ける大学生等に対し給付金を支給する ②生活支援給付金 90人×50,000円=4,500,000円 ③町出身大学生等	R4.9	R4.12	4,500,000	4,500,000	0	コロナ禍において移動の自粛、アルバイト収入の減少等、就学と生活に影響を受けている大学生等に対し、生活支援を実施することが出来た。
23	単	学校施設緊急対策事業	教育課	①新型コロナウイルス感染予防として夏季のマスク着用による熱中症防止のため、児童も利用する校長室、職員室に空調設備(エアコン)を設置する。 ②エアコン設置工事 6台 1,254,000円 ③武田小学校、薄市小学校	R4.7	R4.7	1,254,000	1,174,745	79,255	空調設備設置により、夏場のマスク着用による熱中症予防や、新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減が図られた。
24	単	産学官連携事業	総合戦略課	①コロナ禍において、原油価格、物価高騰の影響を受ける学生に対し、町特産物である津軽海峡メバルの刺身を提供することで食による支援と、町PRIによる交流人口の増加、メバルの消費拡大を図る。 ②メバルの刺身 2,000人分 416,460円 運搬料 14,850円 ③包括連携協定を締結している弘前大学の学生	R4.11	R4.11	431,310	431,310	0	町特産物である津軽海峡メバルの刺身の提供による、食の支援を契機とした町PRIにより、アフターコロナを見据えた交流人口増加への体制づくりと、メバルの消費拡大が図られた。
25	補	保育対策総合支援事業費補助金	福祉課	①こども園において、新型コロナウイルス感染症のリスクを最小限に抑えながら、事業を継続的に実施していくために必要な経費を補助する。 ②中里こども園 500,000円 ・富野こども園、薄市こども園、こども園こどもり 各400,000円 ③町内4こども園	R4.4	R5.3	1,700,000	850,000	850,000	コロナ禍においてこども園を継続して開園するために必要な経費を補助することで、新型コロナウイルス感染症のリスクを最小限に抑えながら、事業の継続を図ることができた。
26	単	観光PR事業	水産商工観光課	①コロナ禍において低迷する地域経済を活性化させるため、津軽伝統人形芝居である金多豆蔵人形劇による町の観光PR事業を行い誘客促進による交流人口の増加を図る。 ②・公演委託料50千円×10公演=500,000円 ・チラシ印刷製本費 77,000円 ③金多豆蔵人形一座	R4.11	R5.2	577,000	577,000	0	津軽伝統人形芝居である金多豆蔵人形劇を活用した町の観光PRにより、アフターコロナを見据えた交流人口増加への体制づくりを行うことが出来た。
27	単	学校ICT緊急整備事業	教育課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校等に対応し、ICTを活用した学びの機会を確保するため、オンライン環境を整備するための費用の一部を助成する。また、国が進めるGIGAスクール構想に基づくオンライン授業実施に係る電子黒板の導入。 ②オンライン環境整備補助金 3名 49,022円 電子黒板購入(5台) 2,574,000円 中里中学校ネットワーク環境整備 1,958,000円 ③オンライン環境未整備家庭、町内5小中学校	R4.12	R5.3	4,581,022	4,581,022	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校等に対応しながらも、授業を継続できる体制づくりが図られた。

(単位:円)

No.	補助・単独	交付対象事業名	担当課	事業概要 ①目的・効果 ②経費内訳 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施 始期	実施 終期	総事業費	臨時交付金	臨時交付金以外	効果の検証・評価
28	単	学校給食費減免 事業(値上げ分)	教育課	①児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減することを目的とし、コロナ禍における、原油価格・物価高騰の影響による学校給食費の値上げ相当分に対し減免を行う。 ②給食費値上相当分に対する減免(R4.4~R5.3) 給食費収入 32,594,150円- 支出33,927,345円= 1,333,195円(1食あたり12.2円の値上げ) ③保護者	R4.4	R5.3	1,333,195	1,333,195	0	コロナ禍における、原油価格・物価高騰の影響による学校給食費の値上げ相当分に対し減免を行うことで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
29	単	燃油・物価高騰 対策事業 (国R3予算分)	総合戦略課	①新型コロナウイルス感染症の影響による原油価格・物価高騰に対する生活者支援として、9,000円分のポイントを付与したプリペイド型の町オリジナル電子カードを町民に配布する。マイナンバーカード保有者には既に町オリジナル電子電子カードを交付しているため、9000円分のポイントのみを交付する。 ②Edyカード印刷製本費(追加分)4,000枚=2,186,800円 設定手数料:22,000円 交付金 9,000ポイント×1,300枚分=11,700,000円 ③全町民	R4.12	R5.3	13,908,800	13,908,800	0	新型コロナウイルス感染症による原油価格・物価高騰の影響を受ける消費者、事業者に対し、キャッシュレス決済を活用した消費下支え等による地域経済の活性化対策を実施したことにより、消費者、事業者双方への支援に繋がった。
30	単	燃油・物価高騰 対策事業 (国R4予算分)	総合戦略課	①新型コロナウイルス感染症の影響による原油価格・物価高騰に対する生活者支援として、町オリジナル電子カードに9,000円分のポイントを付与し全町民に交付する ②9,000ポイント×1,700枚分=15,300,000円 ③全町民	R4.12	R5.2	14,841,000	14,841,000	0	新型コロナウイルス感染症による原油価格・物価高騰の影響を受ける消費者、事業者に対し、キャッシュレス決済を活用した消費下支え等による地域経済の活性化対策を実施したことにより、消費者、事業者双方への支援に繋がった。
31	単	燃油・物価高騰 対策事業 (重点交付金分)	総合戦略課	①新型コロナウイルス感染症の影響による原油価格・物価高騰に対する生活者支援として、町オリジナル電子カードに9,000円分のポイントを付与し全町民に交付する ②9,000ポイント×5,500枚分=49,500千円 ③全町民	R4.12	R5.3	45,918,000	45,918,000	0	新型コロナウイルス感染症による原油価格・物価高騰の影響を受ける消費者、事業者に対し、キャッシュレス決済を活用した消費下支え等による地域経済の活性化対策を実施したことにより、消費者、事業者双方への支援に繋がった。
32	単	徐福の里物産品 直売所誘客環境 整備事業	水産商工観光課	①小泊地域にある町の特産物の直売所、「徐福の里物産品直売所」に冷凍ショーケースを設置し、加工品の販売環境を整備し、新型コロナウイルス感染症の影響により低迷する地域経済の活性化とアフターコロナを見据えた来店客の増加、海産物等特産物の消費拡大を図る。 ②冷凍ショーケース2台設置 1,287,000円 ③徐福の里物産品直売所	R5.2	R5.3	1,287,000	1,287,000	0	アフターコロナの観光需要を見据えた加工品の販売環境整備により、来店客増加、特産物の消費拡大のための体制が整備された。